

オーストラリアでの学びと感動

藍住東中学校 湯浅 成実

私は初めての海外で、最初は言語の違いや環境の変化にとても緊張や不安を感じていました。しかし、オーストラリアでの貴重な体験やたくさんの感動が、緊張や不安を楽しさへと変えてくれました。

まず、オーストラリアに着いて、観光をしました。オペラハウスやハーバーブリッジ、教会など、たくさんの観光地を回り、どの観光地もすごく美しく、感動しました。

そして、ホストファミリーと初対面をしました。すごく緊張していて、初めは上手く会話はできなかったけど、日本からのお土産を渡すとすごく喜んでくれ、自分の家族の紹介などをしていると、だんだん会話ができるようになりました。

また次の日には、学校に行きました。学校では、英語で英語の授業を受けたり、ランチボックスを食べたり、日本の学校との違いを感じることができました。授業はインイン先生の明るい授業で、アボリジナルやオーストラリアについて学びました。また、積極的に大きな声で発表することの大切さもインイン先生から学びました。

ランチタイムでは、ホストマザーが作ってくれたサンドウィッチなどのランチボックスを食べました。食べながら、バディのみんなと好きなことや将来の夢などを語り合ったり、他の生徒のみんなともそれぞれの国のことについて話したりして、すごく楽しくて、かけがえのない思い出になりました。また、昼休みやバディの人たちとの授業では、バレエやダンス、理科のイベントの参加など、バディの人たちと協力しながら楽しむことができました。



そして、学校最後の日の文化交流では、バディのみんなに日本に関するクイズを出したり、けん玉や折り紙、阿波踊りなどを体験してもらったりしました。日本の文化のよさを伝えられて本当に嬉しかったです。それぞれの文化が交流する素晴らしさを実感することができました。これからも互いの文化を尊重し、大切にすることを大事にしていこうと思いました。



もちろん学校だけでなく、ホストファミリーとの思い出では、私たちがホストファミリーにうどんとみそ汁を作りました。ホストファミリーはお箸を使って喜んで食べてくれて、すごく嬉しかったです。また、休日には、ビーチに連れていってくれました。一緒にコーヒーを飲みながらビーチを見たり、少し海に足をつけたりして、楽しい思い出をつくれました。ビーチに行った後に大きなショッピングモールで買い物をしました。ホストファミリーとゆっくり会話をしながら買い物をするのはすごく楽しくて、本当の家族のようでした。

これらのオーストラリアでの貴重な体験から、私はたくさんの学びを得ることができました。オーストラリアにいたときには、毎日のように学校で通りかかった人やホストファミリーに「今日の1日はどうだった？」と聞かれることが多く、海外の親しみやすさを肌で感じました。なので、私も人見知りなところを見直し、自分から簡単な言葉で話しかけたり、人と人とのコミュニケーションを大切にして、すぐに行動にうつせる自分になろうと思いました。また、初めての海外を体験したからこそ、これからは国際的な視野をもち、何事にもチャレンジ精神をもって行動できるように頑張りたいです。

